



「私立入試終わる！」あとは天に任せるのみ！

天候は徐々に回復し、昨日の私立高校入試を、津幡南中学校の受験生は無事に全員受験することができました。何より嬉しいことです。さらに、身だしなみもほぼ完璧というように、皆さんの頑張りが伝わってきました。あとは、合否…になるわけです。来週の月曜日と火曜日にその結果が出ます。今は気持ちが大変落ち着かない状態ではないかと思いますが、今こそ気持ちの切り替えが必要です。ホッとしている間もなく、来週の水曜日と木曜日に次の公立高校受験に向けて希望されるご家庭のPTCA（三者懇談）が行われます。いよいよ受験も山場を迎えます。本当に真剣になるのは今しかないのです。今こそ自分の進路について真剣にならなければなりません。入試を一度経験したことにより、自分が見えるようになったのではないのでしょうか。何が足りなかったのか、これから具体的にどうすればよいのか。謙虚に自分を見つめてみて欲しいのです。自分に足りない部分を認めるのはつらいことかもしれませんが、しかし、現実から目を背けていたのでは、いつまで経っても進歩はないのです。入試で経験したことを今後に生かして欲しいのです。いざとなった時に、何が本当に通用するのか、通用しないのか、一人ひとり考えたことがあるはずです。人間が成長するためにはそんな経験を積み重ねていかなければなりません。自分が真剣であればあるほど、そこから得られるものは大きいはずです。自分の経験全てを成長の糧にできるよう祈っています。



選抜されていてほしい！ 「来週から私立入試結果発表」

来週から私立入試結果（合否）が発表されます。約3/4の生徒が「公立進学希望」ですから、私立の結果如何で公立の受験校が決まってきます。なかには私立が本命という人もいて、はらはらドキドキしている人もいるでしょう。ところで、**合格後の手続きを忘れずに**してください。例え入試に合格していても、手続きを忘れると「入学の権利」がなくなります。詳細については、それぞれの高校からお知らせが来ると思います。1日でも遅れると権利はなくなりますので早めに6~7万円の入金等の手続きをお願いします。また、**私立高校の受験票**は入学説明会でも必要になるかもしれませんので、**大事に保管**しておいてください。



みんなの足並みが揃わないのは仕方がない・・・

小学生から中学生になったときのように、みんなの進路に向けての足並みが揃うことはありません。このようなことを初めて体験している中学3年生の心境はどうなのでしょうね。一人ひとり、みんなが大なり小なり不安を抱え、心を揺さぶられながら、ここ1年間というものは、そんな日々を過ごして来ただろうと思います。いや、まだその途中という人たちも大勢いるのです。私立合否の結果への不安もピークにさしかかっています。まずは現実を真摯に受け止めましょう。これからは、全員の進路の取り方、進み方の速度、方向、すべてが違ってきます。自分はどう生きていくべきかを**自主的に考える「時」、決断する「時」**が来ているのです。お家の方も、そんな我が子の支えとなってあげてください。

合格はまわりの人たちの支えがあったからこそ

1月11日（火）を皮切りに高校・高専入試の合否の結果が次々と発表されています。生徒たちも悲喜こもごもで、合格の発表に小躍りする人もいれば、「そうか〜。だめだったか〜。」とかみしめている人もいます。長い人生の中では、節目節目で、こういう体験をこれからもしていくことでしょう。不合格になったからといって人生の落伍者になったわけでは決してありません。生き抜くバネ、粘りの栄養にもなります。元気を出して、次にチャレンジしていきましょう。合格した人。自力だけで受かったわけではありません。家の人、親戚の人、担任を初め多くの先生たちなど大勢の人たち、そして、何といても「友だち」の支えでここまで来れた…という感謝の気持ちが大切です。謙虚に生きていきましょう。

こういう事にふさわしい「ことわざ」として次のようなものがあります。

『**実る程** ^{こうべ} **頭を垂れる** ^{いなほ} **稲穂かな**』

稲の穂は実る前は立っていますが、実る程に中身が詰まり重くなり、やがて稲穂がたれてきます。そのことから、人として成長する程に謙虚になることを指し示しています。



公立一般入試願書指導と配付を前に県証紙の準備を

私立の入試が終わって間もないのに…と慌ただしいですが、2月14日(月)の公立一般入試願書指導と配付を前に、**石川県証紙 2,200 円の準備**をお願いします。今週中に、公立高校を希望する生徒へ、石川県証紙を入れる袋に写真を入れて配付します。写真の裏に「**津幡町立津幡南中学校、名前**」を黒のボールペンで書き、**写真と石川県証紙を入れて2月10日(木)までに担任に提出**してください。公立高校を希望する生徒は、私立高校に合格した場合は公立高校はどこを受けるか、もしも不合格だった場合はどこにするかについて、両方の場合を考えなければなりません。ひょっとしたら、自分でもどこを受ければいいのか分からない人がいるかもしれません。私立高校と比べものにならないくらいの選択肢からの選択です。よく考えて、自分自身のベストの選択をして下さい。そのためにも、是非、担任の先生に個人面談などを希望し相談してください。最終的に決定するのは自分自身ですから、保護者と十分に話し合っておいてください。また、来週の水曜日からは希望される方のPTCA(三者懇談)が行われます。その場で初めて話し合うということがないように、そのための個人面談です。PTCA(三者懇談)の時には私立高校の結果が出ているわけですから、より現実的な話になります。



公立高校の受検校選択のポイント

① 自分の第1希望となる高校を選択すべし！

- この選択は進学する上での第1希望の高校を選ぶことです。

② 合格し、進学する高校を選択すべし！

- 公立高校は、合格したら必ず入学することが原則になっています。合格しても進学する意志がない高校へは受検しても意味がありません。

※私立高校が第1希望なら公立高校を受検しないでください。

- 合格できたときに、スタートラインがどの辺りか、自分はそこから頑張れるのか、もう少しゆとりをもってのスタートを希望するのかなどについても、自分の性格と合わせて考えましょう。入ることだけが目的ではありません。その後の高校生活がより重要ではないでしょうか。

③ 私立高校の合否との兼ね合いを考えて決めるべし！

- 例えば、私立高校合格の場合は、多少のチャレンジもありかも…。
- 不合格の場合は、限りなく合格の可能性の高い高校を選択せざるを得なくなります。

④ 3年間通学することを考えるべし！

- 「合格したい」という気持ちが先走ってはいけません。高校の場所などを良く確認し、通学方法を始め、進学したら3年間遅刻することなく通うことを考えましょう。

⑤ 私立入試より厳しい試験になることを心して向かうべし！

- 一般的に私立高校より厳しい試験となります。定員がきちっと決まっており、倍率も私立以上に高倍率になる場合があるからです。自分のこれまでの学習生活と現在の力をしっかりと把握してきめましょう。

⑥ 各高校の特色を知った上で選択すべし！

- 公立高校は、実業系を含め特色ある学校がたくさんあります。各高校の特色をしっかりと調べてから選択するようにしましょう。特に第2希望の学科を求める高校もありますが、よく調べてから、自分が第2希望へ入っても頑張れるかよく考えて志願しましょう。

